

# テマリフジアザミ

*Cirsium hideo-takahashii* Kadota  
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内では生育地、個体数ともに限られている。

## 分 布

国内では白山周辺に分布する。大野市。

## 種の特徴

フジアザミによく似ているが、総苞片の外片と中片は反曲し、縁には棘がある。

## 生育を脅かす要因

林道の整備、植生遷移等。

参考文献 植物研究雑誌第81巻第2号(2006)、門田裕一(2013)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

# イナベアザミ

*Cirsium magofukui* Kitam.  
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

県内では今のところ生育地は1箇所であり、個体数も少ない。

## 分 布

国内でも分布域は狭く、三重、滋賀、岐阜の各県に分布する。南越前町。

## 種の特徴

深山の湿った谷川沿いに生える。大型で、茎の長さは1~2m。葉は広い長楕円形、長さ60~80cm。幅20~30cm。羽状に分裂する。頭花は大きく長さ4cm、幅3cm、横向き、または點頭して枝先につく。総苞は鐘球形、総苞片は線状披針形で反曲する。

## 生育を脅かす要因

山道の整備による溪谷の環境変化、植生遷移等。

参考文献 福井県植物研究会(1998)、佐竹義輔ほか(1981)、若杉孝生(1975) 門田裕一(2013)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○									

# エチゼンオニアザミ

*Cirsium occidentalinipponense* Kadota  
キク科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内での生育地、個体数ともに極めて少ない。本県がタイプ産地。

## 分 布

国内では白山山系南部に分布する。大野市。

## 種の特徴

亜高山帯の草原に生える。茎の高さ30~80cm、根生葉は口ゼット状、茎葉は根生葉よりやや小さく、羽状に中裂、基部は茎を抱く。頭花は茎の上部の葉腋及び茎頂につけ大型、総苞は径1.5~2.5cm、果時には3~4cmほどになる。片は7列、外片は内片のほぼ半長。

## 生育を脅かす要因

産地が限られていることによる。また温暖化の進行による生育環境の悪化。

参考文献 福井県植物研究会(1997)、門田裕一(2013)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	